

## No.2377 蛇谷ヶ峰

日時： 8月11日(日) 晴れ  
参加： 岡本 佐々木(L.記)

真夏の比良蛇谷、今年は特に暑い！ 満席のバスはガリバー旅行村で我々2人を残して全員下車。人気の程が知れるが元気を出して終点、畑へ向かう。

右の田んぼ道を辿り、沢を左に見て藪の小道を崩れた木橋を越えると、程なく鹿よけフェンスドアを出ると車道。左すぐに道標(ボボフタ峠)。

沢沿いに時として風の流を感じつつ小1時間須川峠へ、ボボフタ峠とはどういう謂れか判らないまま一服し、しっかりした踏み跡を辿り山頂を目指す。

ピーク手前の仮ピークまで40分、蛇谷ヶ峰ピーク(901.7mm)までは20分。冬の何も無いピークとは違い、木々の茂みに遮られているがながめの良い山頂の木陰で昼食。風通しいい。

朽木スキー場に向けての下り道は、マイナーな踏み跡程度の道だ。P817を右にとると間もなく冬道の目印、国有林の看板(蛇谷への分岐)を見付ける。直進すると、開けた草原とスキーリフトとが見えてくる。

リフト横のさわらび草原道を下り、人の気配が無い広いふもと着。大きなレストハウスにも駐車場近辺にも、残念ながら自動販売機ひとつ無い。強い日差しを避けてくれるようなトンネルを抜けると、いよいよ長い長い車道の下りだ。

バスの時間を気にしながら、覚悟を決めて出発。武曽口バス停まで約1時間30分の夏道は辛い。行の様に足を運んだ末のバス停には、酒屋の自動販売機が冷えたメニューで待ち受けてくれていた、なによりのご褒美である。風の通る日陰の用水横で至福のバス待ちのひと時を過ごす！

安曇川行きバスに揺られて、JR湖西線で岡本さん京都から、佐々木は大阪から無事帰宅、お疲れさんでした。

<参考タイム>

近江高島(9:03バス)ー畑9:55ー10:55須川峠(ボボフタ峠)11:05ー  
11:45P752ー12:05蛇谷ヶ峰(昼食)12:40ー13:20朽木スキー場  
(入部谷)ー15:05武曽口(15:47安曇川へ)